

第2回 基本計画策定市民会議

事例紹介

2022.3.24

目次

- 1.事例紹介 — 石本建築事務所の庁舎実績を紹介
- 2.防災機能について — 防災拠点として必要な機能・事例を紹介
- 3.環境機能について — 省エネ・省CO2の環境に配慮した庁舎の紹介
- 4.窓口機能について — 1Fの窓口スペースに関する機能の紹介
- 5.市民活動機能について — 市民活動スペースの事例を紹介

1.実績紹介

① 上田市本庁舎

竣工2021年3月

所在地：長野県上田市 人口：15万人
 規模：地下1F・地上6F 構造：鉄骨造・免震構造
 敷地面積：10,500㎡ 建築面積：3,500㎡ 延床面積：13,000㎡

※サステナブル建築物等先導事業
 (省CO2先導型) 採択プロジェクト



南庁舎

旧本庁舎

新本庁舎

左から南庁舎・旧本庁舎（設計：石本建築事務所）・新本庁舎「新旧庁舎バトンタッチの瞬間」

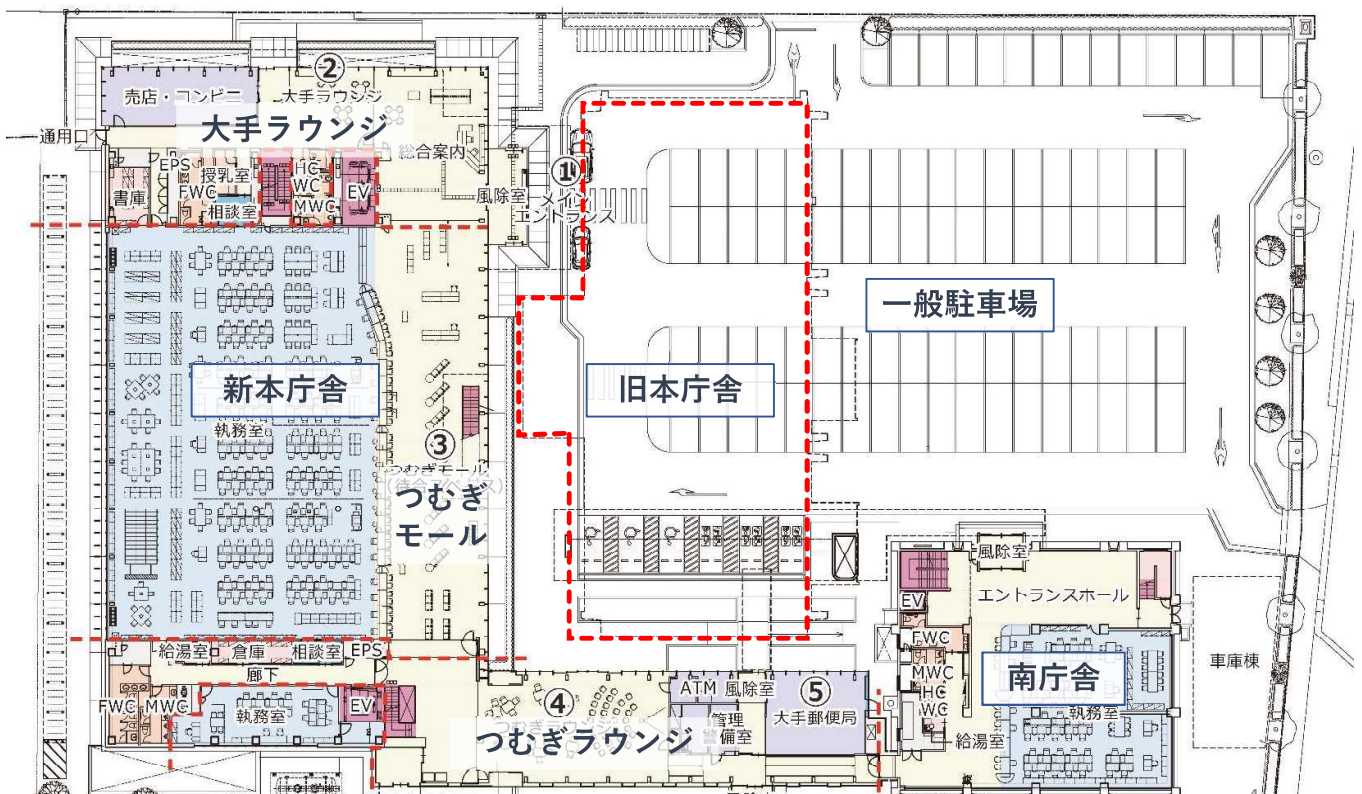
1.実績紹介

① 上田市本庁舎

竣工2021年3月

所在地：長野県上田市 人口：15万人
 規模：地下1F・地上6F 構造：鉄骨造・免震構造
 敷地面積：10,500㎡ 建築面積：3,500㎡ 延床面積：13,000㎡

※サステナブル建築物等先導事業
 (省CO2先導型) 採択プロジェクト



1階平面図：前面道路と一般駐車場に面するようにつむぎモール（待合スペース・テナント）を配置

1.実績紹介

① 上田市本庁舎

竣工2021年3月

所在地：長野県上田市 人口：15万人
 規模：地下1F・地上6F 構造：鉄骨造・免震構造
 敷地面積：10,500㎡ 建築面積：3,500㎡ 延床面積：13,000㎡

※サステイナブル建築物等先導事業
 (省CO2先導型) 採択プロジェクト



1.実績紹介

② 小諸市庁舎・こもろプラザ

竣工2015年6月

所在地：長野県小諸市 人口：4万人 用途：庁舎・図書館・集会所・飲食店
 規模：地下1F・地上4F 構造：鉄筋コンクリート造・鉄骨造・柱頭免震構造
 敷地面積：8,600㎡ 建築面積：6,600㎡ 延床面積：20,000㎡ (庁舎7,300㎡)



1.実績紹介

②小諸市庁舎・こもろプラザ

竣工2015年6月

所在地：長野県小諸市 人口：4万人 用途：庁舎・図書館・集会所・飲食店
規模：地下1F・地上4F 構造：鉄筋コンクリート造・鉄骨造・柱頭免震構造
敷地面積：8,600㎡ 建築面積：6,600㎡ 延床面積：20,000㎡（庁舎7,300㎡）



市庁舎：東面外観



こもろプラザ外観

こもろプラザ：内観

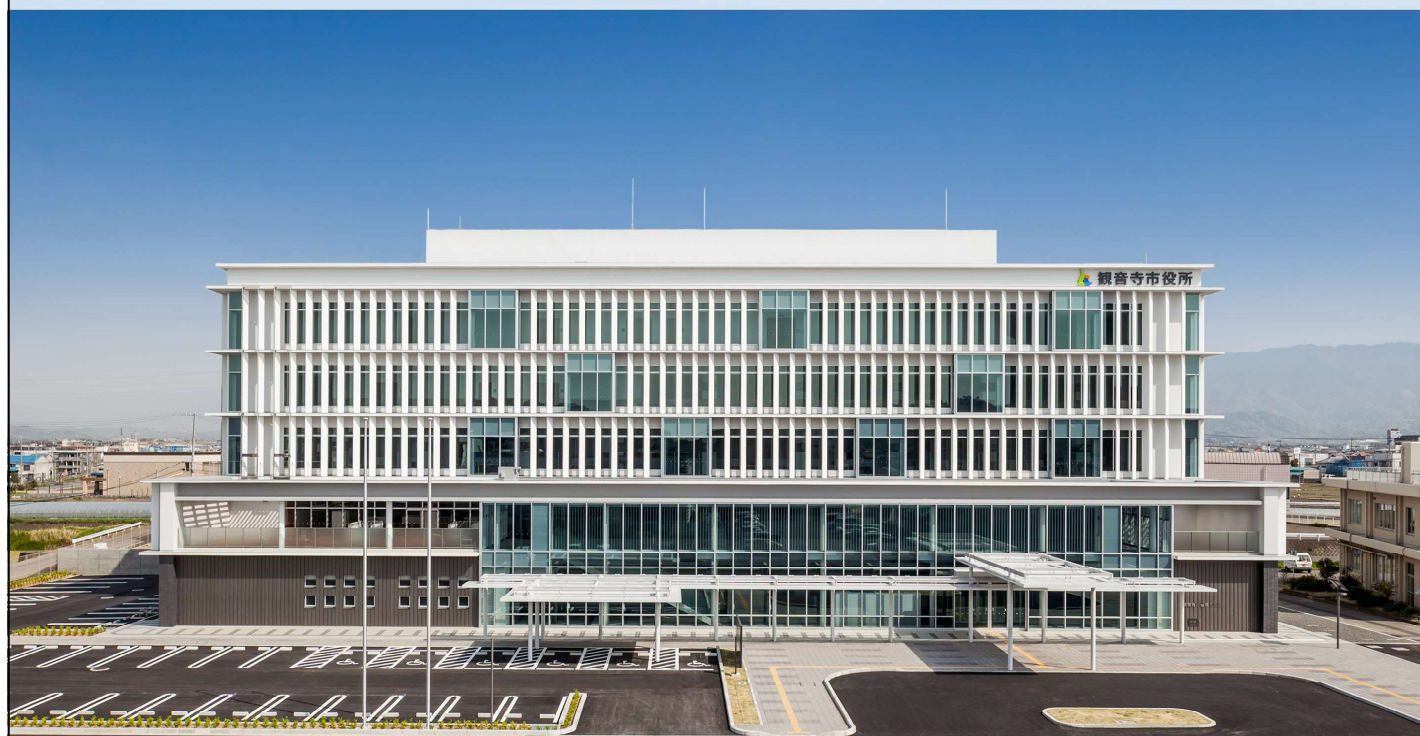
市役所：イベント時の風景

1.実績紹介

③観音寺市庁舎

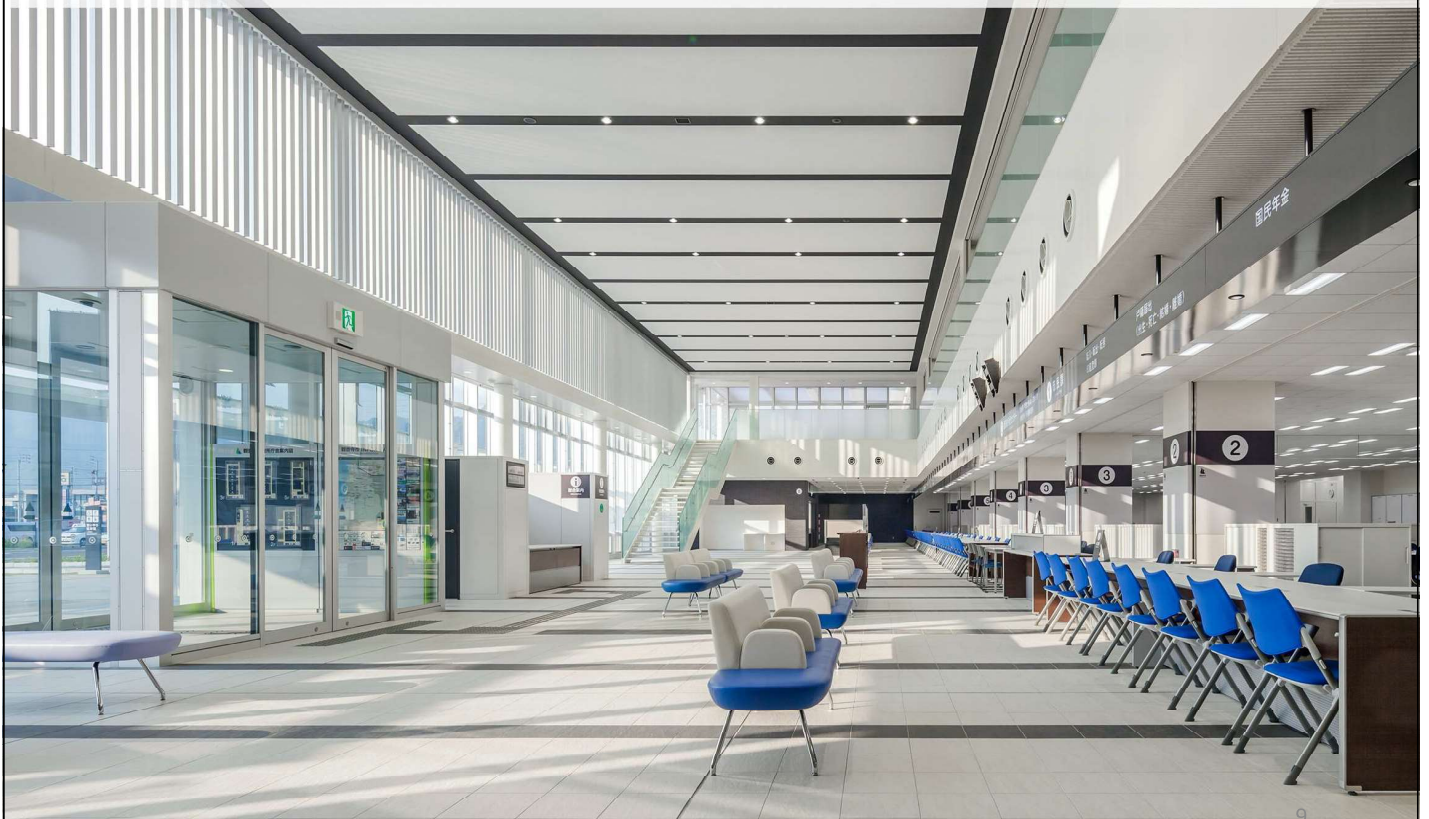
竣工2015年

所在地：香川県観音寺市 人口：5万9千人
規模：地上5F 構造：鉄筋コンクリート造・基礎免震構造
敷地面積：10,000㎡ 建築面積：3,000㎡ 延床面積：9,500㎡



市庁舎外観：ルーバー（日除け）や庇により日射の影響を低減しながら明るい執務環境を実現

所在地：香川県観音寺市 人口：5万9千人
規模：地上5F 構造：鉄筋コンクリート造・基礎免震構造
敷地面積：10,000㎡ 建築面積：3,000㎡ 延床面積：9,500㎡



1階の待合スペースは吹抜けになっており自然光が間接的に入り明るく開放的な空間

2.防災機能について

- 防災拠点として必要な機能・事例を紹介 -

2.防災機能について

敷地（外部）に必要な機能の例

- 災害時の救援機能（防災広場等）
 - ・一時避難場所
 - ・マンホールトイレ
 - ・かまどベンチ
 - ・受水槽
 - ・非常用飲料水槽
 - ・防災備蓄庫
 - ・情報掲示スペース
- 災害時作業機能
 - ・緊急車両の受入れ場所
 - ・支援車両の受入れ場所
 - ・受援対応スペース

庁舎（内部）に必要な機能の例

- 災害時の情報拠点となる機能
 - ・災害対策本部室（大会議室）
 - ・災害対策関連の諸室
 - ・情報掲示スペース
 - ・一時避難の受入れスペース
 - ・被災者支援に関する業務スペース
- 機能維持のための設備
 - ・受変電、空調設備、非常用発電機
 - ・発電機用オイルタンク（72時間分）
 - ・飲料水や雑用水用の上水槽（4日分）
 - ・災害時用トイレ洗浄水（4日分）
 - ・非常用排水槽（7日分）
- 耐震性の確保

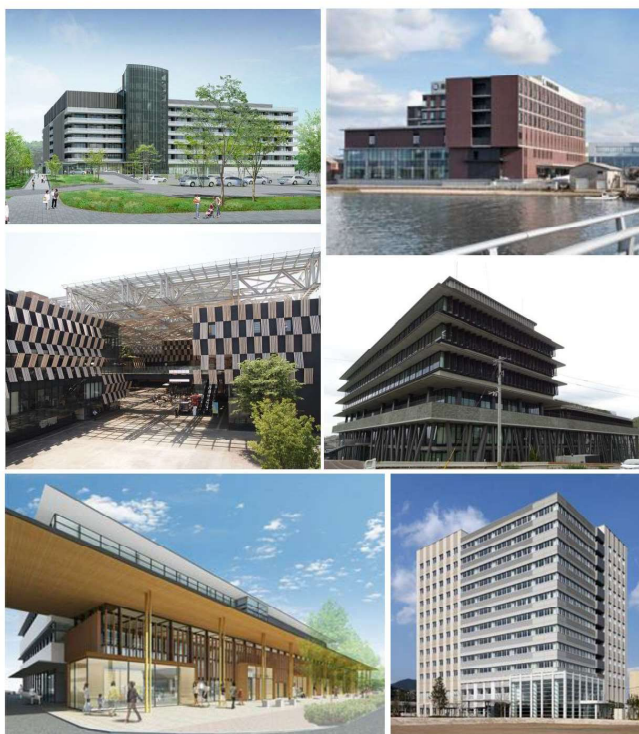


2.防災機能について

防災拠点等となる建築物の事例紹介（国土交通省より）

防災拠点等となる建築物に係る機能継続ガイドライン

防災拠点等となる建築物の機能継続に係る事例集



2.防災機能について

① 須賀川市庁舎

竣工2017年

東日本大震災で被災した市庁舎を防災広場を持つ防災拠点施設として建替え

所在地：福島県須賀川市 人口：7万5千人
規模：地下1F・地上6F 構造：PC造・基礎免震構造
敷地面積：23,000m² 建築面積：4,000m² 延床面積：17,000m²



南東側鳥瞰イメージ

2.防災機能について

① 須賀川市庁舎

竣工2017年

東日本大震災で被災した市庁舎を防災広場を持つ防災拠点施設として建替え

所在地：福島県須賀川市 人口：7万5千人
規模：地下1F・地上6F 構造：PC造・基礎免震構造
敷地面積：23,000m² 建築面積：4,000m² 延床面積：17,000m²



みんなのスクエア



自然採光



耐震構造を採用した防災拠点としての建替え

所在地：栃木県日光市 人口：8万人
 規模：地上4F 構造：鉄骨造・耐震構造
 敷地面積：14,000㎡ 建築面積：5,100㎡ 延床面積：10,000㎡



西側道路に面して「街道テラス」や「街道プラザ（市民交流スペース）」を配置

耐震構造を採用した防災拠点としての建替え

所在地：栃木県日光市 人口：8万人
 規模：地上4F 構造：鉄骨造・耐震構造
 敷地面積：14,000㎡ 建築面積：5,100㎡ 延床面積：10,000㎡

□建築計画

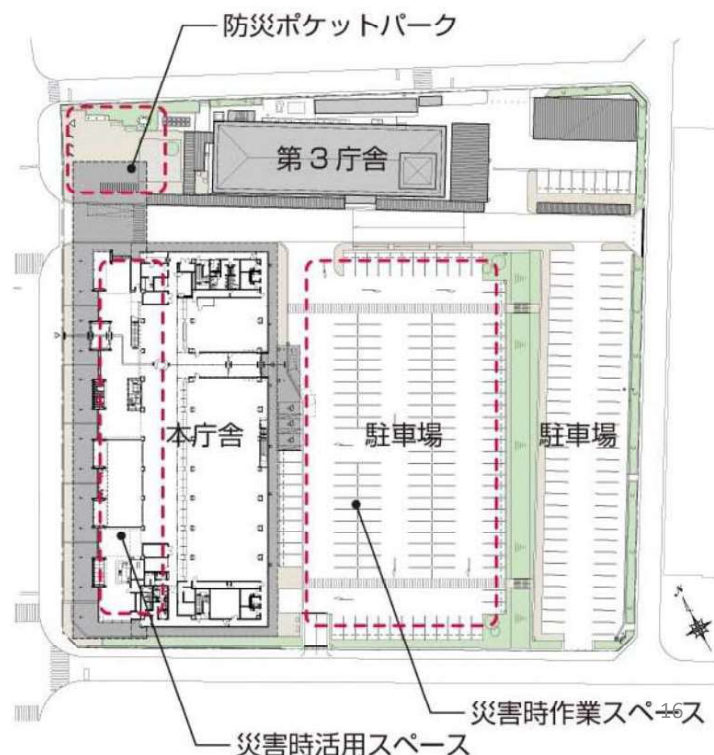
1階は一時避難場所として利用可能な機能を有し、ボランティア受け入れセンター等にも活用できる。

庁舎北側には防災ポケットパークを整備し、マンホールトイレ、かまどベンチ、受水槽等を設置して、災害時の救済スポットとしても機能する。

車止めを設置しない駐車場は、災害時の作業スペースとして利用できる。

3階正庁（大会議室）が災害対策本部となるように、情報収集ができる設備等を設置し、市長室と連携して災害対応の中枢を担うよう整備している。

災害対策室兼中会議室と防災担当執務室は正庁に近接し、日常的に危機管理活動を展開する機能を有する。



2.防災機能について

③ 山口市新庁舎

現在設計中

災害時には「市民交流棟」と「多目的広場」が機能転換

所在地：山口県山口市 人口：19万人

規模：地下1F・地上6F 構造：鉄骨鉄筋コンクリート造・鉄骨造・免震構造

敷地面積：21,000㎡ 建築面積：3,500㎡ 延床面積：24,000㎡

通常時の利用イメージ



市民交流棟

- ・カフェ・交流ラウンジ
- ・多目的スペース
- ・コンビニ・ギャラリー

多目的広場

- ・イベントや市民交流棟と一体的な活用ができる広場

規模：地下1F・地上2F

構造：鉄骨鉄筋コンクリート造・耐震構造

建築面積：1,200㎡ 延床面積：2,700㎡

2.防災機能について

③ 山口市新庁舎

現在設計中

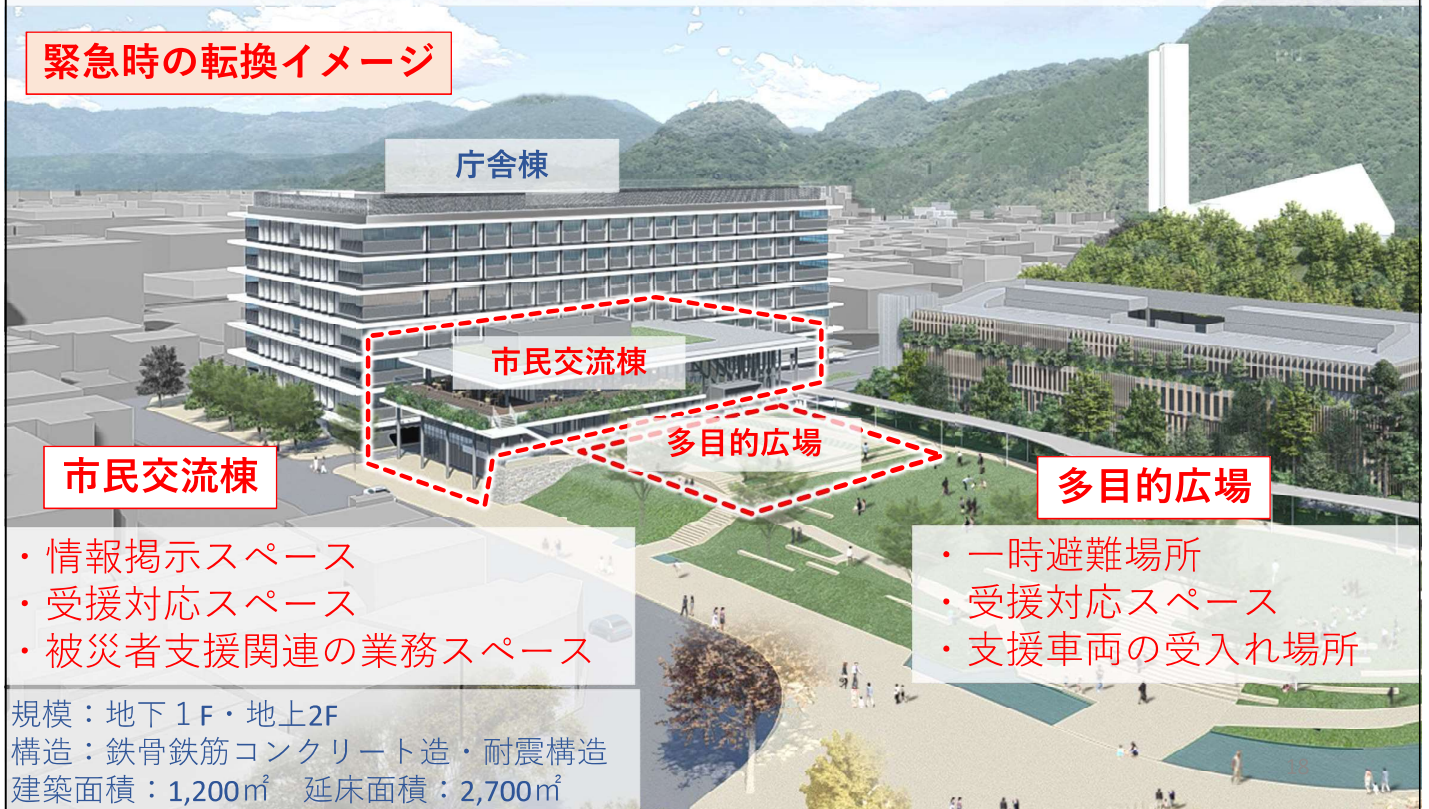
災害時には「市民交流棟」と「多目的広場」が機能転換

所在地：山口県山口市 人口：19万人

規模：地下1F・地上6F 構造：鉄骨鉄筋コンクリート造・鉄骨造・免震構造

敷地面積：21,000㎡ 建築面積：3,500㎡ 延床面積：24,000㎡

緊急時の転換イメージ



市民交流棟

- ・情報掲示スペース
- ・受援対応スペース
- ・被災者支援関連の業務スペース

多目的広場

- ・一時避難場所
- ・受援対応スペース
- ・支援車両の受入れ場所

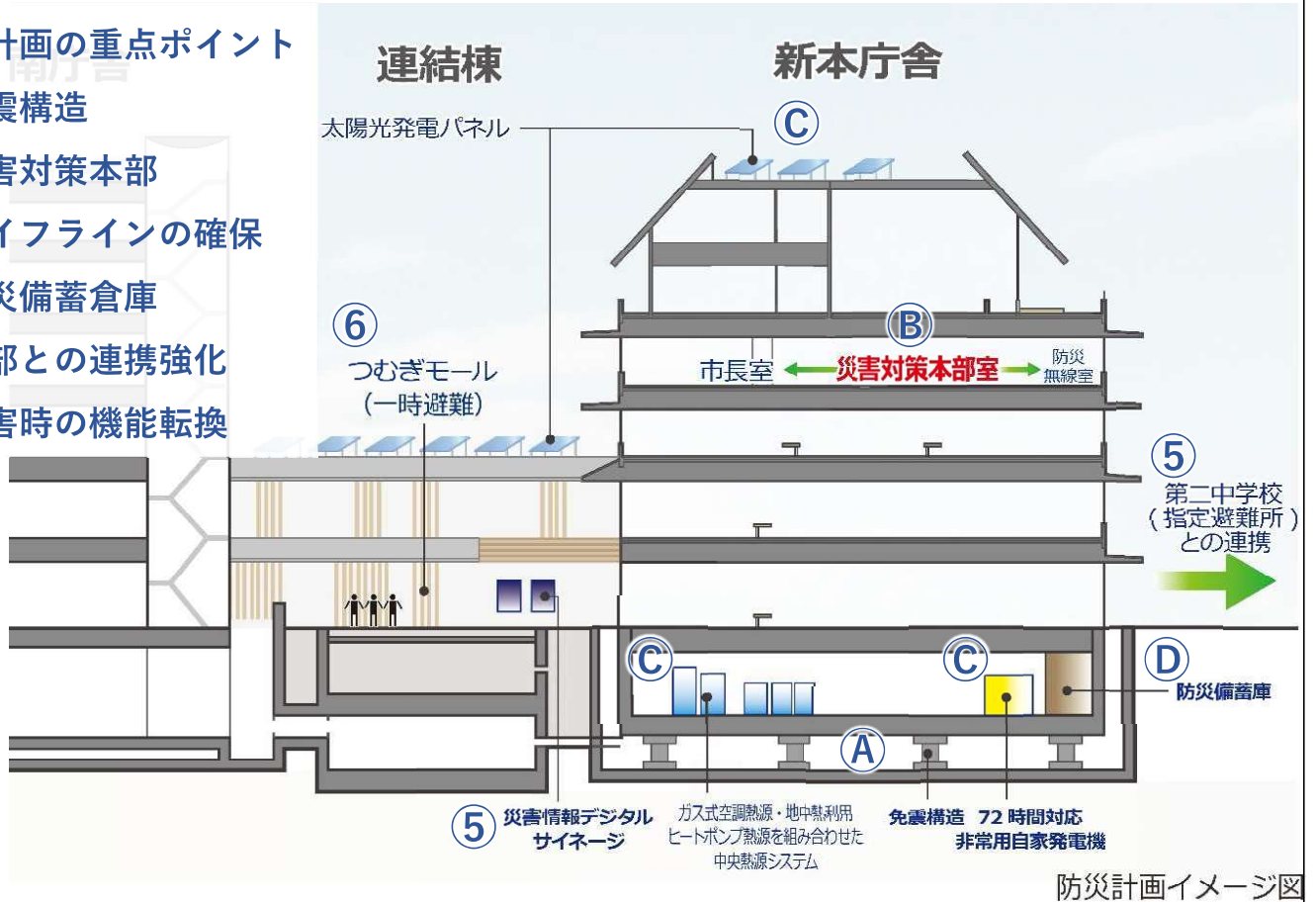
規模：地下1F・地上2F

構造：鉄骨鉄筋コンクリート造・耐震構造

建築面積：1,200㎡ 延床面積：2,700㎡

防災計画の重点ポイント

- ①免震構造
- ②災害対策本部
- ③ライフラインの確保
- ④防災備蓄倉庫
- ⑤外部との連携強化
- ⑥災害時の機能転換



防災計画イメージ図

2.防災学習・防災教育についての事例

防災拠点施設「国営東京臨海広域防災公園」より
 防災学習・防災教育の取組み紹介

2.防災学習・防災教育についての事例

地域や学校で取り組まれている防災教育

-楽しみながら学ぶ防災ゲーム-

国営東京臨海広域防災公園

「遊び・楽しみながらの防災教育」 防災ゲーム①

防災ゲームとは?
防災ゲームは、いつでも誰でもすぐできる防災教育のツールです。

なまずの学校 そなエリア2Fで体験できます
震災後に発生するさまざまなトラブルを紙芝居形式で出題し、トラブルを解決するアイテムカードを出してもらい、得点を競うゲームです。震災時における「入手しやすさ」「使いやすさ」の観点から正解ごとに得点がついています。

●対象：9歳以上向け（小学校低学年〜）/難易度：3〜6人
●制作：NPO法人プラス・アーツ
●協力：公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン
●イラスト：西口芳恵

ぼうさいDuck そなエリア2Fで体験できます
安全・安心の「最初の第一歩」を、からだを動かし、声を出して遊びながら学んでもらうためのカードゲームです。カードには、災害や日常の危険から身を守るだけでなく、挨拶などの日常の習慣について学ぶものも含まれています。

●対象：幼児から小学校低学年
●制作：一般社団法人日本損害保険協会

あそぼうさいカルタ
地震・津波から身を守るために大事なことを子どもにも伝え、記憶に残すことが、いざというときに、その子の命を救うこととなります。そうしたことを絵でイメージをわせながら、繰り返し遊んで学べるカルタです。

●制作：高知県危機管理課・防災課
●イラスト：やなせたかし

そなエリア東京2階で、体験してみよう！
企業等にも活用出来るフレキシブルな展示ギャラリー
世界的な防災教育を体験するゲームが展示されていて、ワークショップで実際にゲームを楽しむことも出来ます。

国営東京臨海広域防災公園

「遊び・楽しみながらの防災教育」 防災ゲーム②

そなエリア東京の2F 防災ギャラリーには、この他にも外国のゲーム等色々な防災ゲームが展示されています。是非、実物をご覧ください。

クロスロードゲーム
「クロスロード」とは、「岐路」「分かれ道」のことです。災害時に直面する場合は、シレンマを伴う重大な決断の連続です。ゲームをしながら防災対応を自らの問題として考え、自分とは異なる意見・価値観があることへの気づきも得られます。

●制作：チームクロスロード（総代理：吉川肇子、矢守克也）
●「CROSSROAD」および「クロスロード」は、登録商標です。
（クロスロード）：登録番号2004-83439（第28期）、（CROSSROAD）：特2004-83440（第28期）

シャッフル
災害時に役立つ様々な知識、知事・縁の手順を、遊びながら身につけることができるカードゲームです。ガスメーターの復旧方法などの手順が描かれた4枚のカードを、考えて正しい順番に並び替え、正解するとポイントがもらえます。

●制作：東京ガス株式会社、NPO法人プラス・アーツ
●イラスト：善藤正平・北谷彩夏（文平絵筆） ●テキスト：善藤孝子

防災すごろくゲーム「GURAGURATOWN」
「阪神淡路大震災」の教訓を活かして開発されたすごろくゲームです。ゲーム中に突如発生する地震に対して、自分の持っているアイテムを上手に使うことで、問題を解決します。災害時に役立つアイテムを楽しくながら覚えることができます。

●制作：NPO法人プラス・アーツ 協力：apod
●イラスト：加藤啓子 監修：吉川肇子、矢守克也

ぼうさい駅伝
防災クイズに解答しながら、コマを進めるすごろく形式のゲームです。チームを組んだ2人が、ボード上5つに区切られた区間を交互に解答しながらタスクをつないでいくので「駅伝」と命名されました。ゲームをしながら楽しく防災知識が学べます。

●制作：防災ゲーム研究会（事務局：公益社団法人市民防災研究所）

21

2.防災学習・防災教育についての事例

地域や学校で取り組まれている防災教育

-地域みんなで考える防災教育-

国営東京臨海広域防災公園

「災害に強い地域をみんなで考える防災教育」 災害図上訓練 (DIG)

災害図上訓練 DIGとは?
地図や見取り図に参加者自身が書き込みをすることで、自分の地域や住まい・職場に潜在災害の危険性を「見える化」し、災害を防ぐためにはどうすればよいかをみんなで考える防災訓練です。
DIGは、Disaster (災害)、Imagination (想像力)、Game (ゲーム) の頭文字をつなげたものです。

準備するもの
大きな地図 地図に合わせた大きさの透明シート
油性のカラーペン 油性のカラーペンが使用可能
付せん 地図に貼る付せん
ドットシール 地図上にマークするときに使う
横道紙やホワイトボード 意見を書き出すときに使う

DIGの進め方

- DIGの説明と参加者の立場の明確化**
「どのような災害を想定するのか」「参加者がどのような立場でDIGに取り組むのか」など、これから実施するDIGのねらいについて詳細説明を行います。
- 防災情報の提供**
テーマや参加者などに応じて防災に関する情報提供を行います。
- 雰囲気づくり**
進行にあたっての留意事項を伝えるとともに、参加者の自己紹介などを行います。話しやすい雰囲気づくりにつとめます。
- 地図への書き込み**
用意した地図の上に透明シートを置きます。次に、シートの上から、地図や付せん、ドットシールなどを使って、様々な防災関係情報を書き込みます。
- グループ討論**
作成した地図を見ながらテーマに応じて意見交換を行います。
●地域の防災資源調査・設備の配置・バランス
●災害に対する地域の強み
●地域での必要防災対応など
- 成果発表・講評**
グループごとに、話し合った内容について発表し、質疑応答を行います。その後、進行係などが中心となり、全体の感想や参加者の取り組み状況、防災上の課題などを総括します。

取り組み事例 「四国東南海・南海地震対策連絡調整会議」
四国東南海・南海地震対策連絡調整会議では、東南海・南海地震対策に及び防災意識を高めるために、地域住民などの関心を持たせ、各地で防災と住民が災害に強い地域(DIG)を用いて、合意形成を図りながら議論を行っています。
会場：四国東南海・南海地震対策連絡調整会議
平成25年7月 高松市立中央公民館

国営東京臨海広域防災公園

地域や学校で取り組む 防災教育

今後発生が懸念される大規模災害に備えて、学校や地域では、防災教育をより一層充実し、防災意識を高めていくために様々な取り組みが行われています。

避難所HUG
地域住民の避難状況に即して、避難所に目や耳で早期に適切な避難者を配置できるか、トラブルなどに対応するが等、避難所運営を模擬体験するゲームです。

防災運動会
防災訓練に競技・ゲーム要素を取り入れて、担振りレーン、バケツリレー、防災クイズなどを行い、子どもからお年寄りまで楽しく参加できる運動会です。

地域・学校・家庭の連携による防災教育の推進
水道原産地帯にある横浜市立北瀬島小学校では、学校外の災害時の生き残りも教えるだけではなく、学校、家庭、地域の連携を構築し、3者が地域で一体となった防災教育に取り組んでいます。

**知る、備える、行動する
防災学習に取り組む学校**
東日本大震災の津波災害を受けた気仙沼市立陸上中学校では、学校と地域が一体となって防災活動に取り組んでいます。

22

3.環境機能について

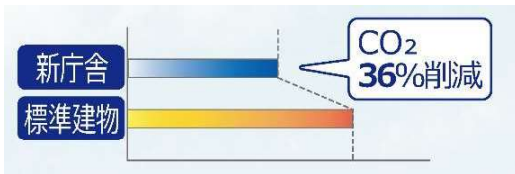
- 省エネ・省CO2の環境に配慮した庁舎の紹介 -

3.環境機能について

①上田市新庁舎

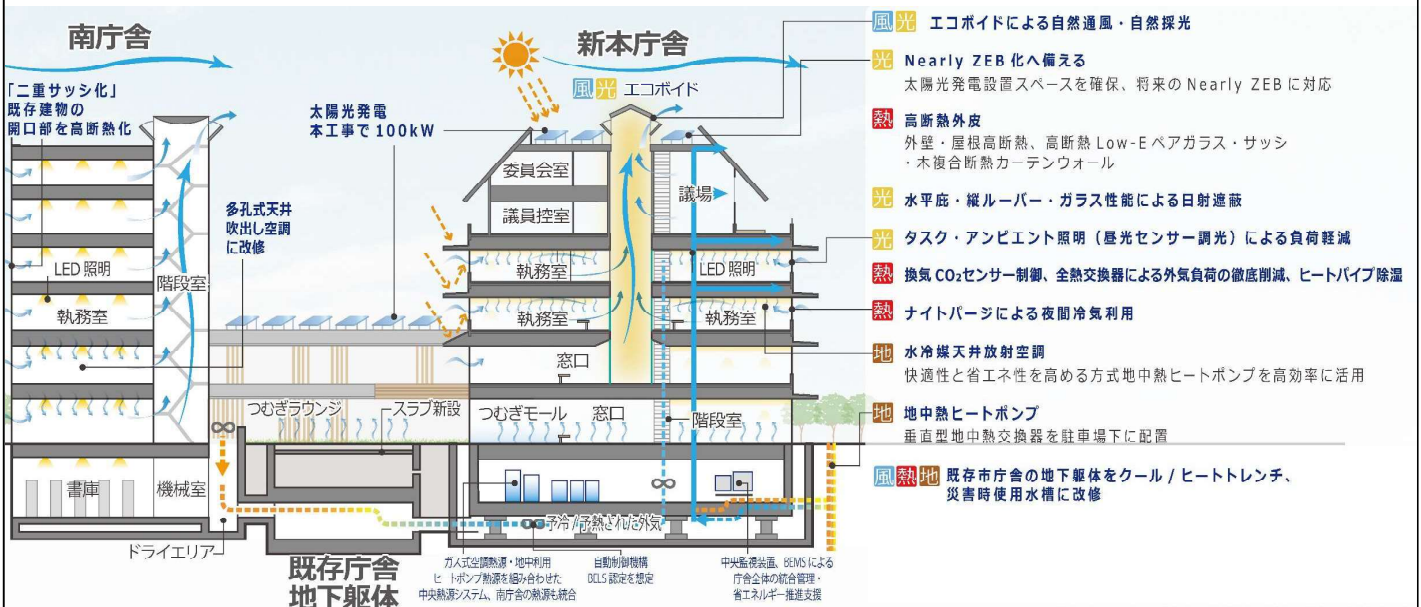
人口：15万人

上田の気候風土を活かすサステナブルデザイン



※サステナブル建築物等先導事業（省CO₂先導型）採択プロジェクト

※「サステナブル建築物等先導事業」による国交省補助金採択の豊富な実績（13件）



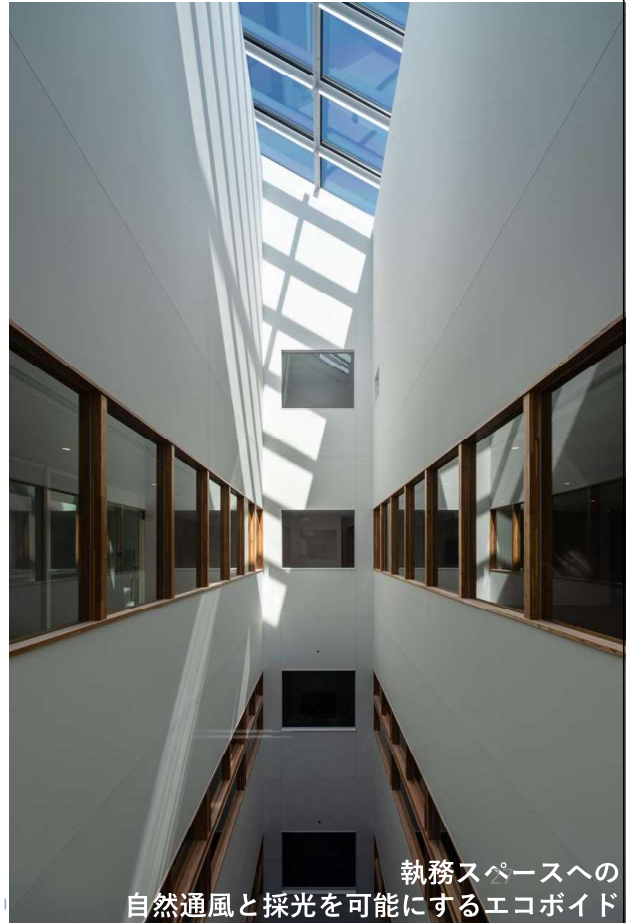
既存南庁舎・既存庁舎地下躯体・新庁舎断面図

3.環境機能について

①上田市新庁舎

人口：15万人

環境（省エネ）に配慮した執務空間の実現

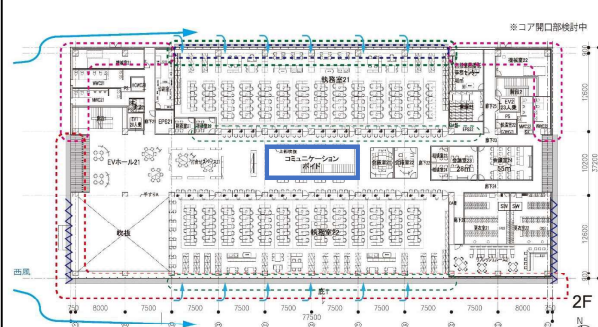
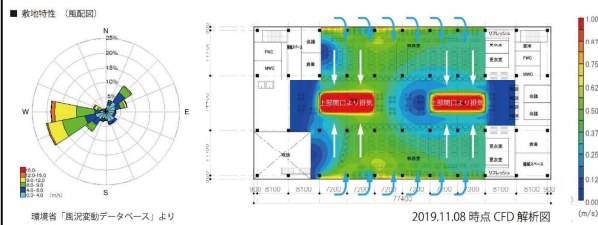
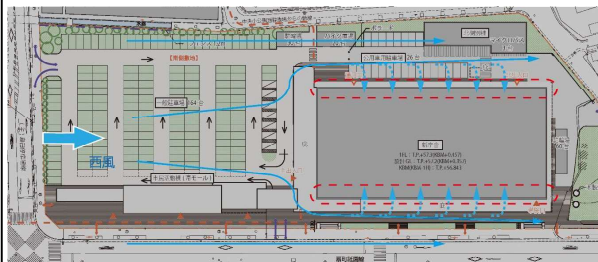


3.環境機能について

②島田市新庁舎

人口：9万7千人

地域特性を生かした自然換気計画が外観に現れる環境デザイン

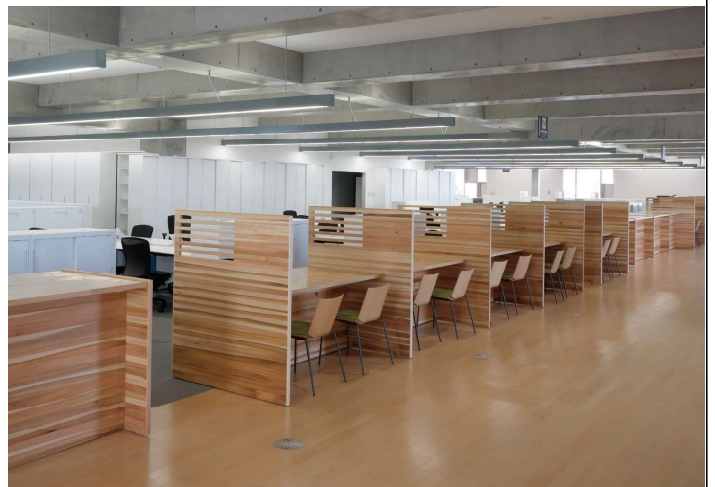
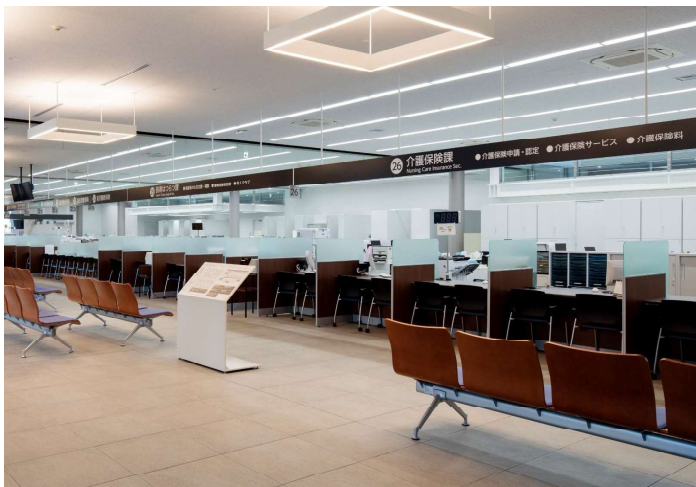


4.窓口機能について

- 1Fの窓口スペースに関する機能の紹介 -

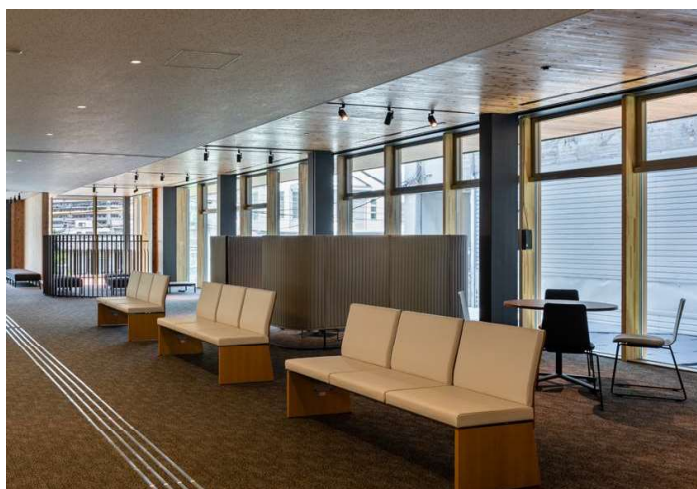
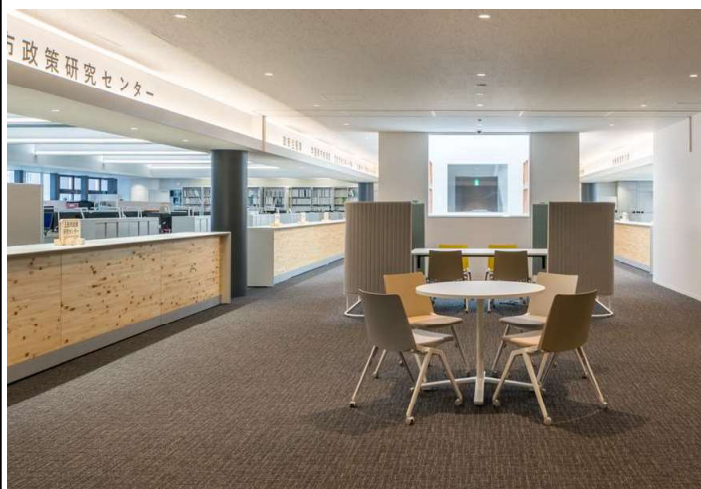
4.窓口機能について ①多様なニーズに対応した窓口

衝立のある窓口カウンター



4.窓口機能について ①多様なニーズに対応した窓口

オープンな相談・打合わせスペース



4.窓口機能について ①多様なニーズに対応した窓口

ハイカウンター



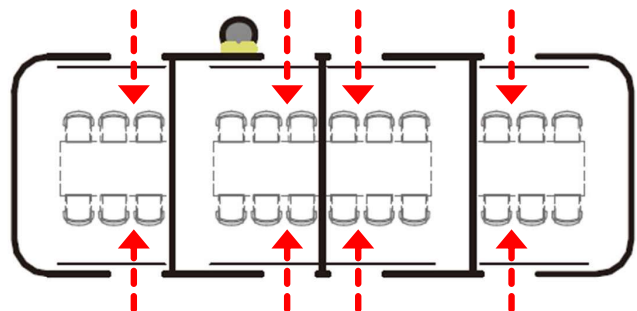
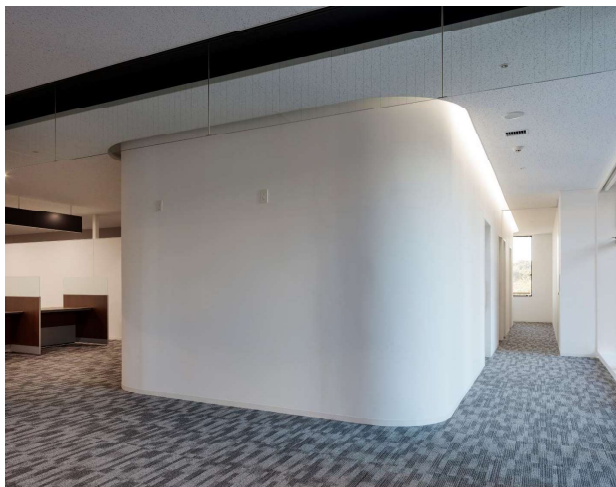
4.窓口機能について ①多様なニーズに対応した窓口

プライバシーに配慮した相談ブース



4.窓口機能について ①多様なニーズに対応した窓口

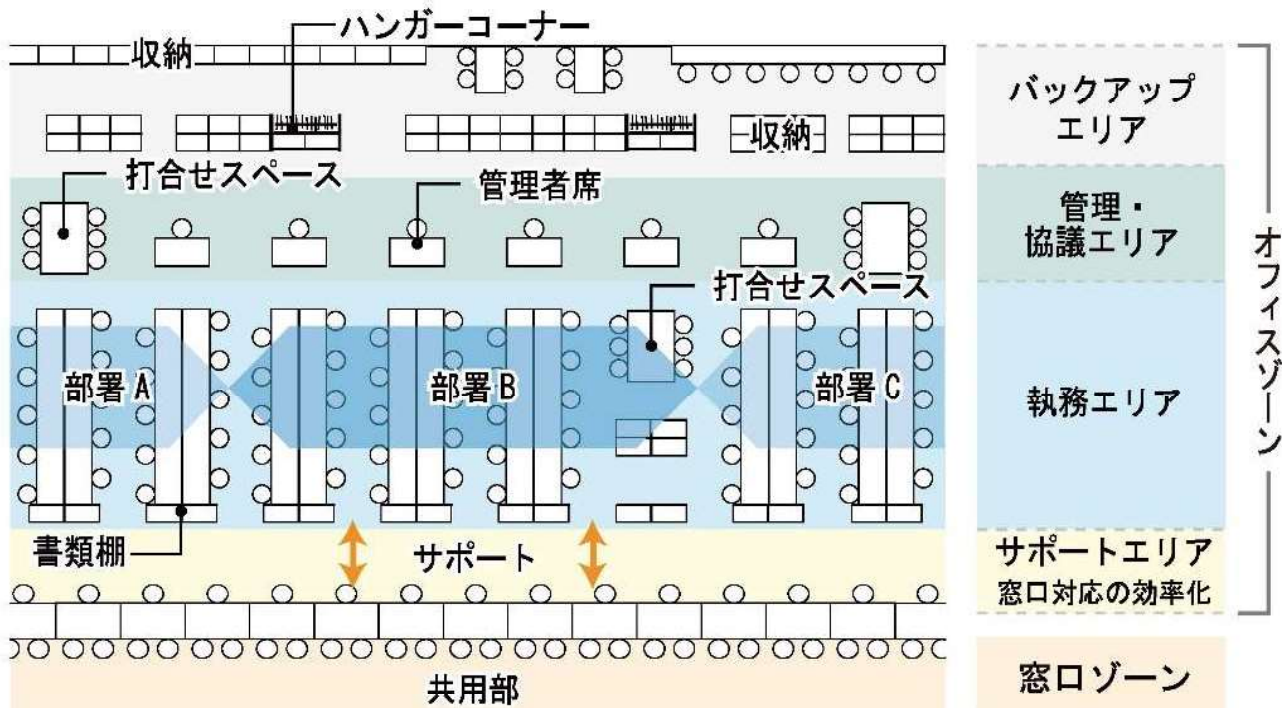
個室相談室



4.窓口機能について ②柔軟に対応できるフレキシブルな構成

ユニバーサルプランレイアウト

-規格化したデスク・収納配置-



4.窓口機能について ③わかりやすい庁舎

視認性の良いエントランス：L字型共用ロビー



4.窓口機能について

③わかりやすい庁舎

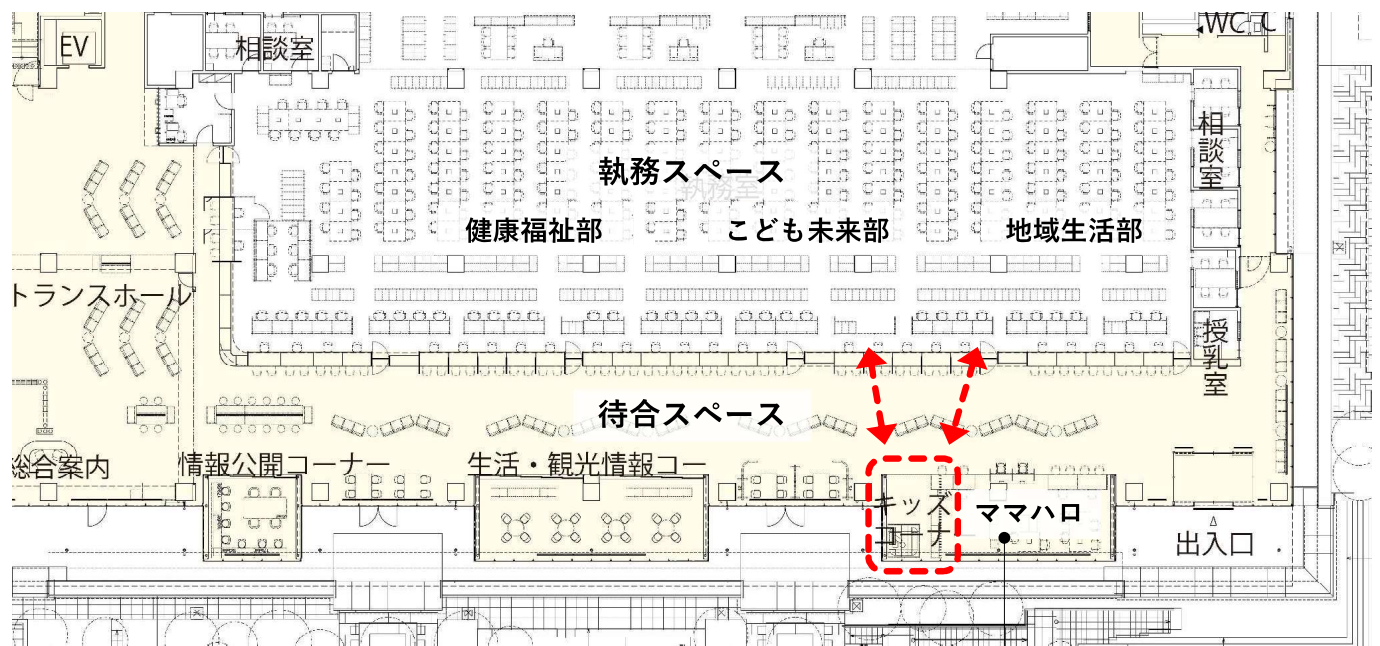
視認性の良いエントランス：片廊下型共用ロビー



4.窓口機能について

④使いやすい庁舎

キッズコーナーは子育て関連の窓口近くに配置



子育て中の方の仕事相談室

5.市民活動機能について

- 市民活動スペースの事例を紹介 -

5.市民活動機能について ①市民活動スペース

市民活動（協働）スペースの参考事例

テナントとしての事例

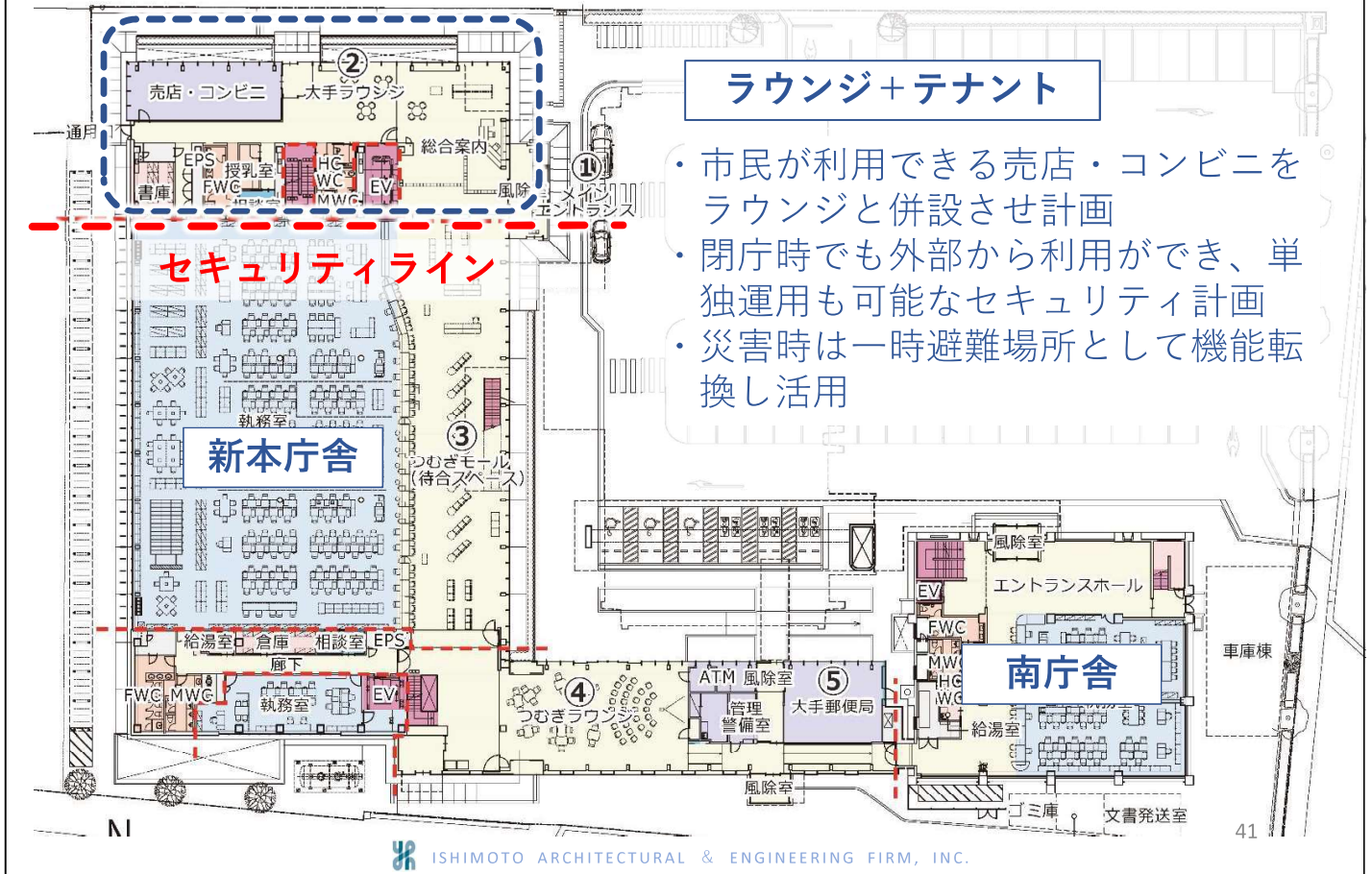
- ・ カフェ、喫茶
- ・ 売店
- ・ 郵便局
- ・ 食堂、レストラン
- ・ ハローワーク
- ・ 物販兼ミニキッチン
- ・ コンビニ
- ・ 銀行
- ・ FMラジオ

市民協働スペースの事例

- ・ 多目的室
- ・ 会議室
- ・ ギャラリー
- ・ 展示スペース
- ・ 情報発信スペース
- ・ 市民ホール
- ・ 市民協働コーナー
- ・ 市民ラウンジ

5.市民活動機能について ①市民活動スペース

庁舎と一体的な計画により重ね使い利用ができる市民活動スペース



5.市民活動機能について ①市民活動スペース

庁舎棟と別棟とすることでセキュリティ区画が容易な市民活動スペース



つむぎモール（待合スペース）



窓口カウンター

つむぎモール
（待合スペース）

情報発信スペース

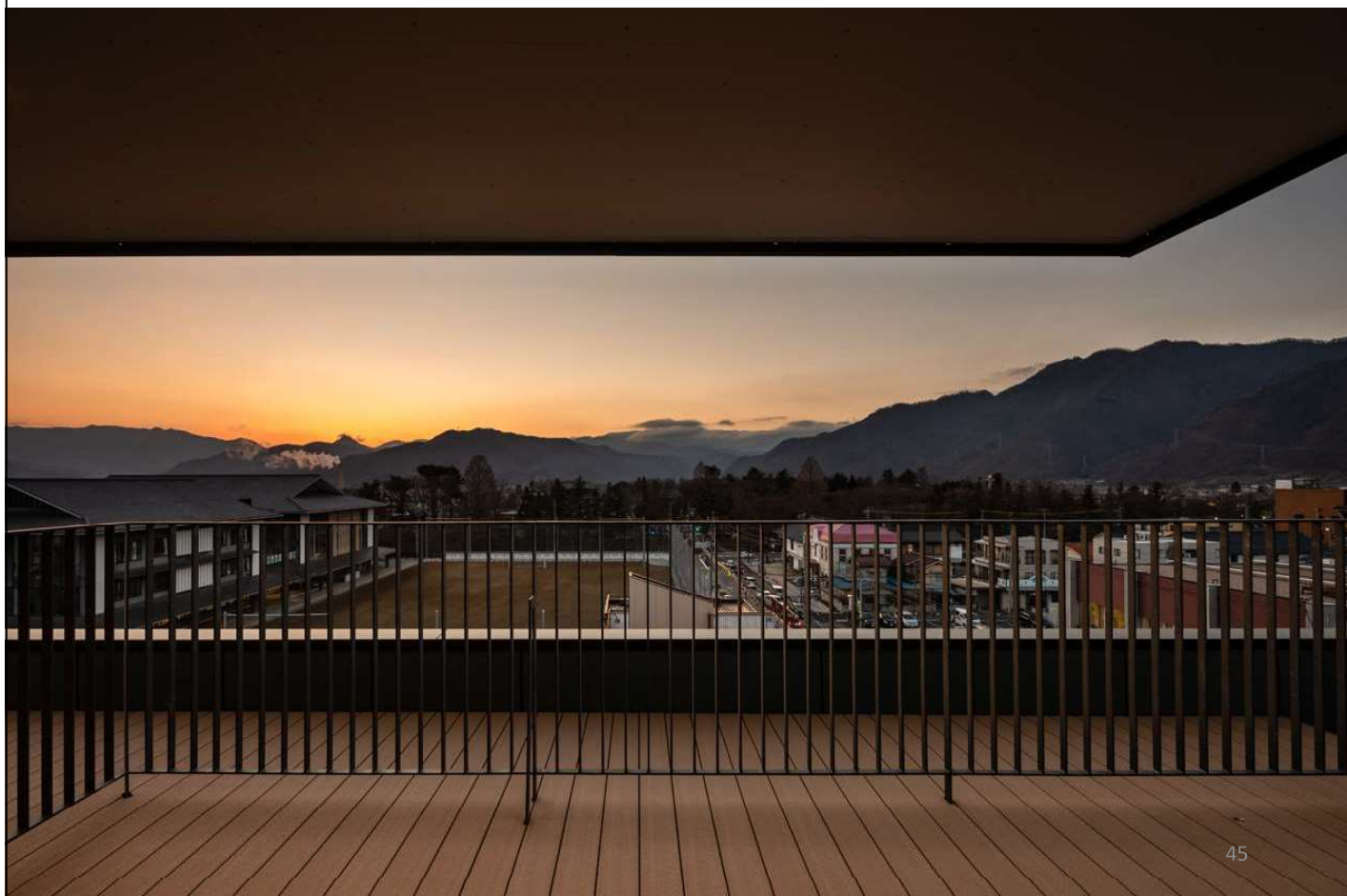
1階待合スペース：右側はギャラリーとして情報発信スペースを計画、奥に市民活動ラウンジを配置

テナントスペースと併設した市民ラウンジ



市民交流のスペースとして前面道路に面した場所にコンビニ・売店と市民ラウンジを配置

自分が住んでいる街並みを眺望できる展望テラス



大人数が集まることができる講堂兼全員協議会室



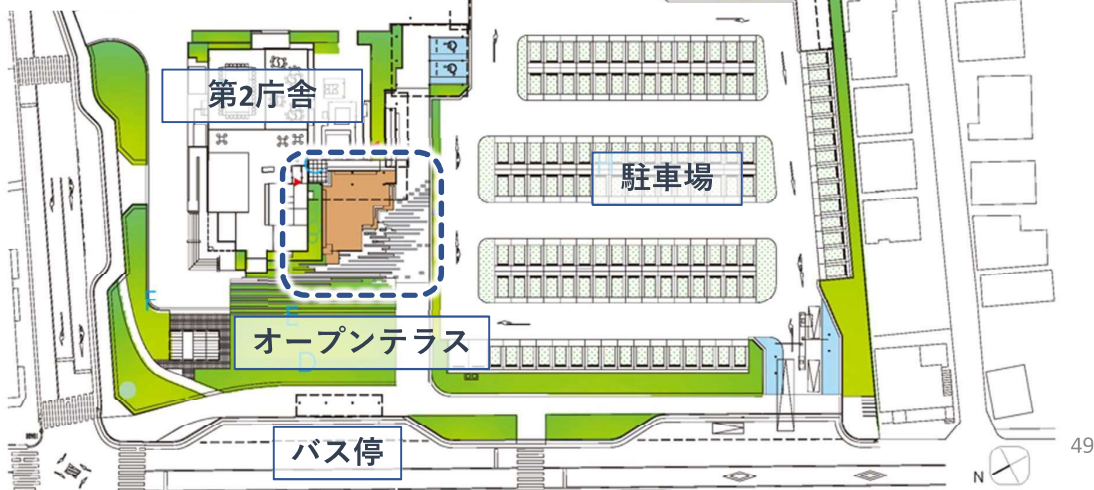
イベント時に市民ひろばと一体的に活用できる共用ロビー



図書館に併設されたカフェコーナー



四季折々のイベントが開催される「市民オープンテラス」



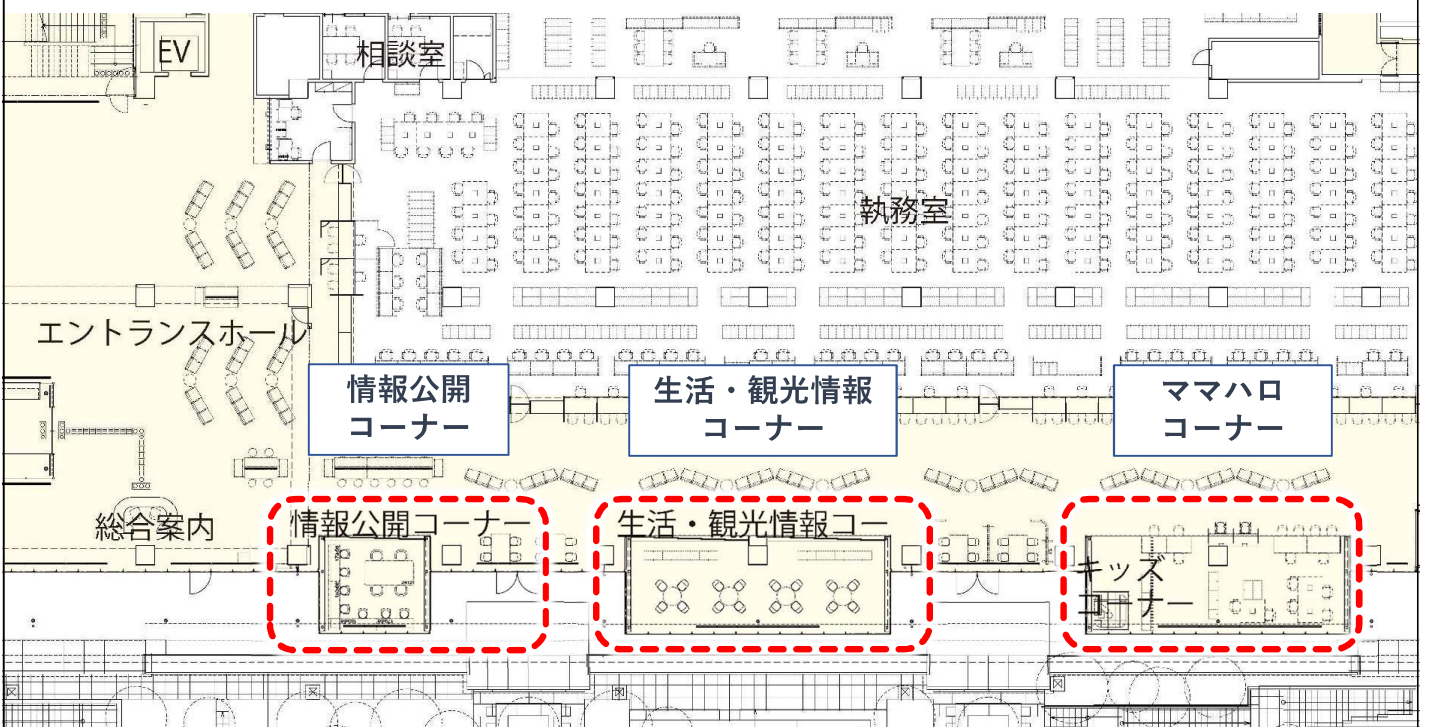
四季折々のイベントが開催される「市民オープンテラス」



市民参加を促す明るい議場フロア



まちに面して配置された情報発信コーナー



キッズコーナーに併設した
子育て中の方の仕事相談室

5.市民活動機能について

⑥魚沼市庁舎

人口：3万3千人

市民の交流場としてイベントが開催される広い軒下空間



5.市民活動機能について

⑥魚沼市庁舎

人口：3万3千人

様々な大きさの会議室を配置：市民に開放できるオープンなスペース



大会議室：災害時は間仕切り壁を開放することで一室として利用可能

